

第17回とんど祭りを開催！



五常

編集発行
コミュニティ
協議会
広報委員会

人口
7,191人
世帯数
2,708世帯
19年1月

去る一月十四日(日)新年の恒例となった「五常校区とんど祭り」が五常小学校グラウンドで行われました。今回は、過去最大規模の参加があったように思われます。その中でも特に若いファミリーの参加が例年より多く見受けられ、活気ある会場になりました。当日は暖かく年頭の行事としては珍しく非常に過ごしやすいものになりました。



やぐらの裏側と三宅太鼓の演奏

これだけの演奏をするにはかなりの練習が必要だったでしょう。ありがとうございました。

まず、オープニングイベントとして五常小学校太鼓クラブによる力強い三宅太鼓の演奏で「とんど祭」スタートです。とんどのヤグラをバックにとっても迫力のある演奏をしてくれました。

続いてボーイスカウトの人によるペットボトルロケットの発射がありました。会場の人達のカウントダウンに合わせ3発のロケットが打ち上げられました。みんなが見つめる中みごと、3発とも成功です。いよいよ点火です。今年は、火熾しをしました。板に棒を擦りつけての火熾しです。さあ、うまく火がつくかな。一度はだめか？と思ったのですが、会場にいる人達の思いが伝わったのでしょいか見事火がつき無事に点火することができました。一気に燃え上がるとんどのヤグラ。ポンポンと大きな音を立てはじける竹。これが、とんど祭りの醍醐味です。

その後、毎年恒例となっている、豚汁、ぜんざい、やきいもが振る舞われました。今年はそのに加え自主防災会が大声コンテストを開催してくれました。九十名ほどの人が参加してくれました。

とんど祭りの実行に当り、各自治会・マンション管理組合と五常小PTAなど各種専門組織から出て頂きました実行委員の皆さん本当にありがとうございました。

地域の方がふれあえる場としての「とんど祭り」をこれからも大切にしていきましよう。

とんど祭り実行委員長
雪下 和卓

どんど係に参加して

一月十四日第十七回とんど祭りが行われました。天候にも恵まれ多くの方々に参加していただきよかったですと思います。今回とんど祭りのお手伝いをさせていただき、準備から関わって参りましたのでそのあたりも踏まえて簡単ではありますが感想を述べさせていただきますと思います。

私自身この校区内に越してきて三年目です。一年目のとんど祭りの時も当日のやぐらの組み立てや、灰を捨てるための穴掘りなどをお手伝いさせていただきましたが、今回は企画会議の段階から参加させていただきましたので、思っていた以上にたくさんの方の協力の下、成り立っていることがよくわかりました。

例えばとんど祭りではメイである竹で組んだやぐらですが、前日に山之上小学校

前の山から竹を伐採し、採寸、運搬まで行い、当日の早朝から組立までをすべて住民たちで行っております。



早朝の組立て作業

またグラウンドで振舞われた豚汁、ぜんざい、焼き芋なども前日からたくさんの方が下準備をされております。

実際経験して思ったことですが、お祭りは当日そこに行つて楽しむのもいいですが、裏方に回つてお手伝いしたり、準備等にも携わつてみるのも意外と楽しいものです。

皆様も機会があれば地域行事のお手伝い等に参加されてはいかがでしょうか。

地域で知り合いの方が増えたり、とんど祭りに限った特典

として、列に並ぶことなく食べ物や物をいただくことができたりします。

最後にとんど祭りがこれからも地域住民の方が参加しやすいお祭りとして根付いていくよう、自身も協力していきたいと思いました。

とんど係A班 岡崎直己

(五常小学校PTA副会長)

どんど祭りの司会を担当して

とんど祭りも今年で十七回目数を数えました。一年のはじめに、地域の皆さんが集えるるとんど祭りは、校区の大切な行事だと思いつつながら、毎年、お手伝いをさせていただいています。

六百人を超える人が集まるわけですから、一番気をつけなければいけないことは事故がないようにということです。小さな子どもさんからお年寄りまでが、楽しく参加できるお祭りをめざし、企画・準備をしています。ご参加くださる皆さんのご協力なくしてはできない

いことです。

今年も事故なく終われたことを本当にうれしく思います。ありがとうございます。

これからも地域の皆さんのお力をお借りしながら、みんなで活気ある地域を作っていくことを願っております。

司会・進行担当 宮路美佐

(協議会役員・会計担当)

お知らせ

どんど祭りの写真は、下記のURLでご覧頂けます。

<http://comm.city.hirakata.osaka.jp/comm/>

(五常校区の活動⇒校区のトップページ⇒写真集)

インターネットの普及で近くの出来事もネットで見る事が出来る時代となりましたが、人と人との繋がりは行事などに参加し顔が触れ合う中で生まれるものです。校区のイベントへの積極的に参加し交流を深めましょう。

(編集子)